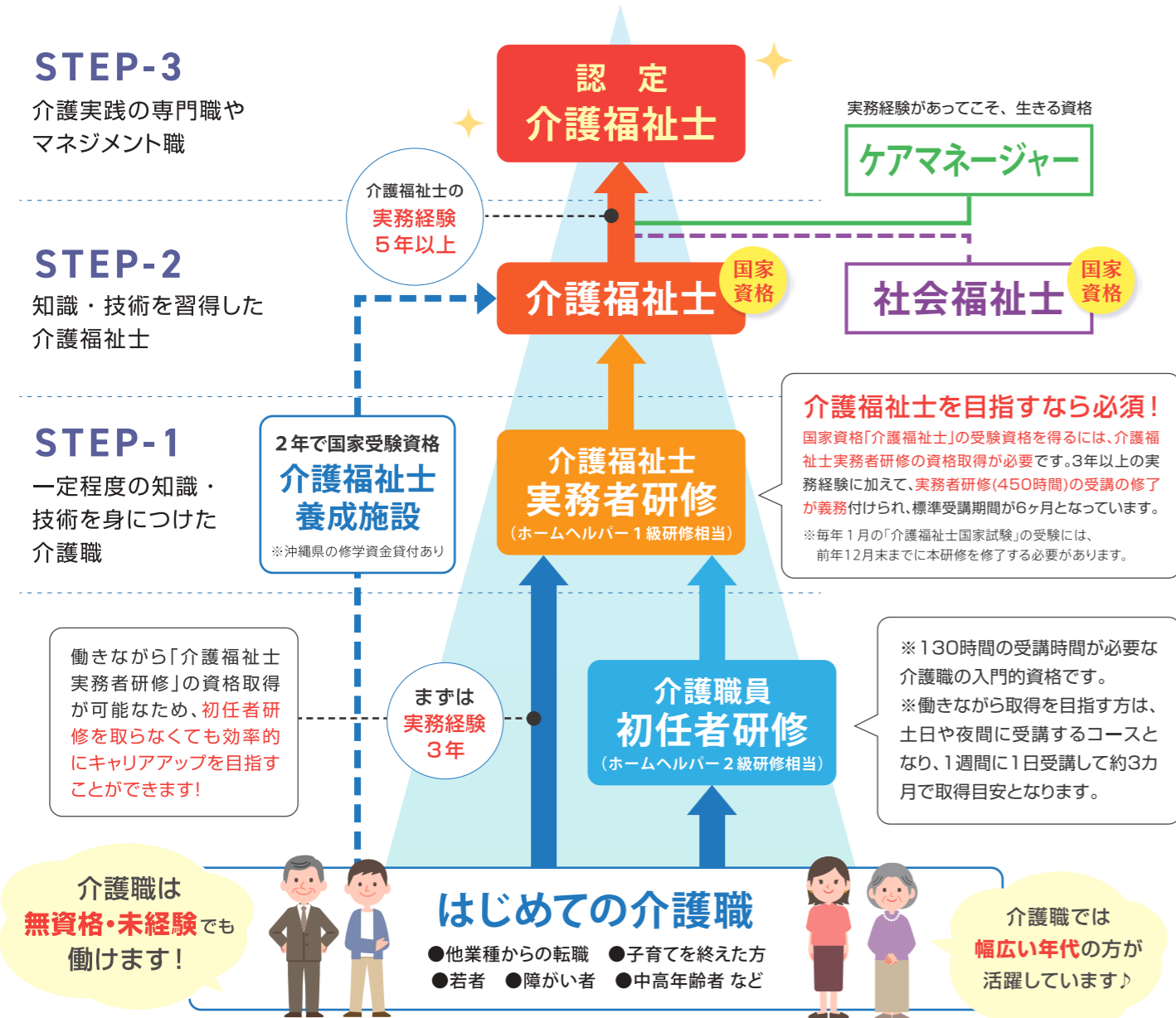


「介護職」には、どんな魅力やメリットがあるの？



1 介護職はどの年代からでもキャリアパスが可能

無資格・未経験からはじめることができ、誰でも資格取得によってステップアップが可能となるのが、介護職の大きな魅力です。他業種からの転職、子育てや介護などが落ち着いた方々、中高年齢者となっても働くことができる仕事です。



6つの介護職キャリアと資格

公的
資格



① 介護職員初任者研修 (ホームヘルパー2級研修相当)

介護の基本的な知識や技術を、初心者取得しやすいため公的な資格です。利用者の体に直接触れる「身体介護」ができるようになり、ホームヘルパーとして訪問介護事業所で働きたい場合は必須の資格です。また、初任者研修修了者は実務者研修の受講時間がおよそ130時間も短縮できるので、スピーディーに取得することが可能です。

公的
資格



② 介護福祉士実務者研修 (ホームヘルパー1級研修相当)

実践的な介護技術や専門的な知識を身につけることができる公的な資格です。介護福祉士国家試験の受験資格として、まずは実務経験3年と「実務者研修」の修了が必須となります。**働きながら資格取得できる介護福祉士実務者研修**は、効率的にキャリアアップを目指すことができます。

国家
資格



③ 介護福祉士

介護福祉士国家資格取得者は、介護のプロであるスキルの証明です。主に介護施設などで介護職員として、直接的に利用者への介助業務や生活援助を行うほか、資格を持っていることでサービス提供責任者や生活相談員になることができ、介護計画書の作成などの業務も行えます。自力で日常生活を営むことが困難な高齢者や障がい者をサポートができる介護のスペシャリストです。

民間
資格



④ 認定介護福祉士

新たな介護キャリアパスの中で**最上位資格**となり、**介護福祉士のリーダー的存在**として位置づけられています。介護福祉士よりも、更に多様な利用者や環境に対応できるための知識やスキルの習得、介護職員へサービスの質向上を指導するスキルと実践力を備えるため、介護現場だけでなく事業所内の幅広い役割を期待されています。

公的
資格



⑤ ケアマネージャー

主に介護サービスが必要な人を中心に業務を行います。利用者が適切な介護サービスを受けられるようケアプランを作成し、介護サービスの利用によって利用者が日常生活を快適に過ごせているかどうかを見極めるモニタリングを継続的に行ったり、利用者宅への訪問、関係機関との連絡調整業務なども行います。

国家
資格



⑥ 社会福祉士

病院などでソーシャルワーカーとして働くことができ、高齢者施設や障がいの福祉施設などでは生活相談員や支援相談員として働くことができます。「高齢者」「児童」「障害」など、幅広い分野の人を対象とし、地域の団体や公的機関と連携を図りながら、さまざまな理由により日常生活で困難をきたしている人に解決策を講じます。

2 介護福祉士は、給与アップ&就転職にも有利

高齢化などから需要が高まっている介護系職種ですが、供給が追い付かず慢性的な人手不足です。介護系の中では上位資格とされている介護福祉士は、一度取得すれば更新等する必要がなく、ずっと使える資格です。介護の経験と知識、そして介護福祉士の資格があれば、給与アップや就転職、結婚・出産・育児後でも有利に役立てることができます。



3 介護の資格は種類豊富！得意分野で、幅広いスキルを身につけよう

介護士として得意分野を活かしたり、介護業界の他職種へ転身する際に強みになったりする資格がたくさんあります。

- 介護予防指導士
- 行動援護従業者養成研修(強度行動障がい支援者研修)
- 介護食士
- 福祉用具専門相談員
- 喀痰吸引等研修(かくたんきゅういんとうけんしゅう)
- 難病患者等ホームヘルパー
- レクリエーション介護士
- トラベルヘルパー
- 精神保健福祉士(国家資格)
- 社会福祉主事任用資格
- 音楽療法士
- 同行援護従業者養成研修(視覚障がい者ガイドヘルパー)
- 介護事務
- 福祉住環境コーディネーター

介護職は目標を持つことで、キャリアアップの実現が可能！

- ① 資格手当や職務・役職の昇格など、給料のベースアップや待遇の向上
- ② 得意分野を活かしたり、職場の選択肢が広がる
- ③ チーム内の介護職に対する指導・教育・フォローができるリーダー